セカンダリセッション接続設定マニュアル

セカンダリセッション接続とは？

本製品は、同時に複数のPPPoE接続相手先との通信が可能なセカンダリセッション接続（マルチセッション）に対応しました。これは1つのWANアクセス機器（ブロードバンドルータなど）が、複数のPPPoEアカウントを使ってそれぞれ異なるネットワークに接続できる機能です。本製品は、最大2つのPPPoEセッションに同時接続することができます。（PPPoE 2セッションサポート）

セカンダリセッション接続設定方法

①左側のサイドメニューから、接続設定をクリックし、接続方式から［PPPoE接続2（セカンダリセッション）］を選択してください。

接続方式 ヘルプ

使用するブロードバンド接続方式を選択してください。

接続方法	PPPoE接続2（セカンダリセッション）
	通常接続（DHCP） 通常接続（固定IPアドレス） PPPoE接続1（プライマリセッション） PPPoE接続2（セカンダリセッション）

次へ

PPPoEセカンダリセッション接続設定 ヘルプ

PPPoE接続アカウントを設定します。

PPPoEセカンダリセッション	◉有効 ○無効
PPPoEユーザ名	guest@flets
PPPoEパスワード	●●●●●
PPPoEパスワード再入力	●●●●●

②［PPPoEセカンダリセッション］の項目で、［有効］にチェックをつけ、PPPoEユーザ名、PPPoEパスワード欄にセカンダリセッション用のアカウントを入力します。必要に応じて他の項目の設定を行って下さい。左はNTT東日本のフレッツスクウェアをご利用の際の入力例です。

③セカンダリセッション接続ルールを設定します。送信先の種類を選択して下さい。接続先をIPアドレスで指定する場合は［送信先アドレス］を選択して接続先のIPアドレスを入力し、サブネットマスクを隣のプルダウンから指定して下さい。接続先をURLで指定したい時は、［DNSクエリ］を選択して下さい。通常は、こちらの方が良く使われると思われます。DNSクエリの設定方法は右下の表をご参照下さい。例はNTT東日本のフレッツ・スクウェアをご利用の際の入力例です。

注）"www.ntt-me.co.jp"宛に送信したい時は、"*.ntt-me.co.jp"または".ntt-me.co.jp"と入力することになります。ワイルドカード（*）は、一つのクエリにつき一つのみ使用可能です。例えば、"www.flets"でワイルドカードを使用する際には"*.flets"となります。

セカンダリセッション接続ルール ヘルプ

以下のセカンダリセッションルールのいずれか1つに一致する送信先へのパケットは、PPPoEセカンダリセッションを利用します。最高4ルール設定することができます。

セカンダリセッション接続ルール1	
送信先の種類の選択	DNSクエリ
送信先アドレス / ネットマスク	. . . / 255.0.0.0
DNSクエリ	*.flets

クエリの例	適合するアドレスの例
.com	abc.com
.abc.com	www.abc.com
abc.com	abc.comのみ
.www.abc.com	xxx.www.abc.com
www.abc.com	www.abc.comのみ
*.jp	abc.jp、def.jpなど